

岐阜県職員倫理憲章 教育財務課実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり教育財務課実行計画を定めます。

平成30年 4月 1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法が定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱いに努めます。
- 倫理観を持った行動に心がけ、服務規則や法令等を遵守します。
- 事務事業の遂行にあたっては、全ての事案に対して関連法令等に基づいた公正な運営を行います。
- 職員一人ひとりが信頼される岐阜県政に生まれ変わるための意識改革に努め、疑惑や不審を招くことのないよう健全な県政の運営に取り組みます。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 予算化された事業であっても、合理的な観点から経費の削減に努めます。
- 事務用品の在庫管理の徹底・再利用の促進による事務用品購入経費の削減、両面コピーや縮小コピーなどの活用によるコピー使用枚数の削減などにより、経費節減を徹底します。
- 経費の節減を常に念頭に置き、工夫による事業の見直しを図り、効率的かつ効果的な業務運営を行います。
- 事務事業の効率的な執行等により、超過勤務縮減（対前年度比減）に努めるとともに、「早く家庭に帰る日」等を含め、週1回のノー残業デーを実施します。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 行政改革の更なる推進に向けて、新聞・インターネット及び専門誌等からの情報収集を積極的に行い、職員全員で情報を共有するなど組織力の向上に努めます。
- 日頃から業務に関連した研修会等に積極的に参加して専門的な能力・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めるとともに、その知識等を職員間で共有します。
- 法的根拠等を業務毎に体系的に整理し、的確かつ迅速な業務運営の推進に努めます。
- 県民への対応は、誠意を持ち、丁寧で公平・公正に対応します。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 各種危機管理対応マニュアルを参考にしながら、想定される事案毎に連絡方法や役割分担を定めるなど、所属内の危機管理体制を整備します。
- 所管施設における不測の事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう、時間外連絡窓口を複数体制で対応して一方が不在でも確実に情報が伝達出来る緊急連絡網を整備します。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生未然防止に努めます。
- 所管機関との情報交換を行うなど密接な連携を図るとともに、常に状況把握に努め、不測の事態発生時に備えます。

- 5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。
- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
 - ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、緊急連絡網等の活用により迅速に全職員への情報伝達を完了し、情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。
- 発生した問題について、十分な調査と分析を行い原因究明に努めるとともに、必要に応じて専門機関の指導・助言等を積極的に受けるなど、他の施設において再発することのないように早期の防止策を講じます。

- 6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 「職場環境の改善は職員との会話から」を目標に、朝夕のあいさつや声かけなど会話の多い明るい職場づくりに努めます。
- 危機事案に対しては、事務分掌にとらわれず、課内で横断的な対応・対策を実施するとともに、機動的な体制を構築し職員の一体感を創出することにより、いつでも誰でも意見の出し合える職場づくりに努めます。
- チーフ会議や担当内の打ち合わせなどを随時実施し、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。
- 「報告・連絡・相談」を徹底し、良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。
- 心身の健康維持と情報の共有のため、職員間の積極的なコミュニケーションに努めます。

- 7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 全ての職員が地域活動等（地元の消防団や自治会等の地域活動、ボランティア活動等）への参加を推奨します。
- 事務事業の見直しによる仕事量の削減、内部事務の効率化による業務改革、時間管理意識の徹底などにより、職員が地域活動等に参加しやすい環境づくりに取り組みます。
- 身近な環境問題に目を向け、節電・節水やゴミ分別などの環境活動に積極的に取り組みます。

- 8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 各種広報媒体を活用し、当課の取り組みや進捗状況を県民の皆様に適時に的確な提供を行います。
- 「現場主義」と「対話重視」を基本に現場からの意見・提言を随時収集し、次年度以降の政策立案・予算編成等につなげていきます。